

貴重な資料が!!



深田久弥

山の文化館だより

平成29年
秋号

深田久弥 山の文化館
〒922-0067
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL 〇七六(一)七二一三三三
FAX 〇七六(一)七二一三三三

加賀市教育委員会賞



『山小屋』掲載一覧

	山小屋掲載山名	年・月・日	号数	ページ
1	高千穂峯 乗鞍岳	S15.3.1	98	24~25
2	岩菅山 妙高山	S15.4.1	99	18~19
3	燧ヶ岳 至佛山	S15.5.1	100	38~39
4	五龍岳 立科山	S15.6.1	101	18~19
5	寶剣岳 高田大岳	S15.7.1	102	30~31
6	白山 會津駒ヶ岳	S15.8.1	103	24~25
7	薬師嶽 太郎山	S15.9.1	104	26~27
8	高妻山(戸隠連峯) 霧ヶ峯	S15.10.1	105	38~39
9	赤嶽(ハッ嶽) 開聞嶽	S15.11.1	106	16~17
10	湯ノ丸山 岩手山	S15.12.1	107	22~23

雑誌『山小屋』を十冊寄贈頂いた。この『山小屋』十冊は、久弥さんが初めて「百名山」を書き始めた雑誌で、『日本百名山』誕生の発端となるものです。これは、『日本百名山』の自筆原稿、掲載されていた『山と高原』それらに次ぐ貴重な資料です。

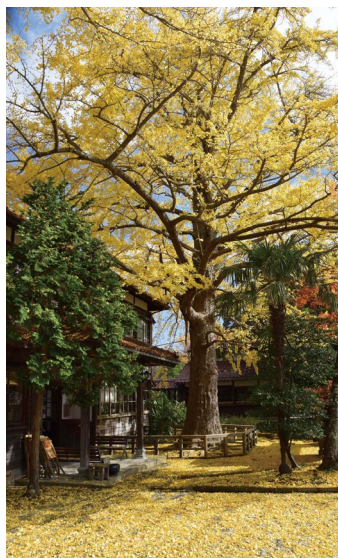
大森久雄さんからは、深田久弥さんから大森さんへの謹呈署名入り『日本百名山』と、これも深田久弥の署名入りの『ヒマラヤ―山と人―』も寄贈頂きました。

この『ヒマラヤ―山と人―』は、大森さんにとって一際思い入れのある一冊の様です。氏は、その本を入手した経緯、感動を、「ある本の運命」と言う文章にしているくらいなのです。この文章は『本のある山旅』に収録されています。そしてその文中で「私はこの書物を手放すことはないから」とまで書いた本を託された山の文化館の責任も重大であります。

改めて、これらの資料を皆様にお見せする機会を作りたいと考えています。

紅葉もすぐそこに

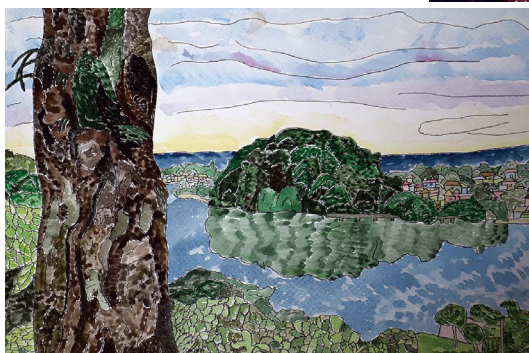
ギンナンが色づき、風が吹くと落ちるようになります。山の文化館の秋が始まっています。十一月の半ばごろには、写真のように一面黄色に染まるのが見られます。色付き、落葉の様子、ホームページでもお知らせします。ぜひ、一度お越し下さい。



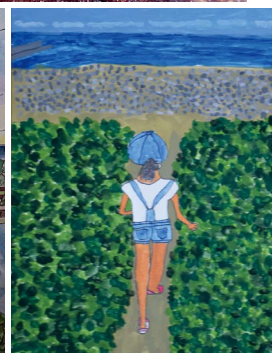
ふるさとの自然 ふれあいコンクール 入賞作品展開催!

今年で十二回目になるコンクールに、加賀市内の小中学校の児童生徒の皆さんから、感性あふれる、多くの作品が寄せられました。

審査員の厳正な審査の結果、市長賞以下二十三点が選ばれました。それらの作品の展示会が、深田久弥山の文化館聴山房で、十月十三日まで開かれていきます。子ども達の力作を、ぜひご覧になって下さい。



加賀市市長賞



深田久弥山の文化館賞

一軒の宿を探しに

一軒の宿を探すべく、越前市粟田部町^{あわたべ}を訪ねた。何の当てもなかった。以前から、一度訪れたいとは思っていたが機会がなかった。今日はふと思いついて行動に移した。実は、久弥さんの「日野山と木ノ芽峠」を読み返すうちに、その当時泊まれた宿は、何処だったのだろうかと気になっていたのである。

まず、目についた理髪店に入って尋ねてみた。そこのご主人は「三、四軒有った様だが」と言つて、二つの元旅館の名を教えてくれた。

「熱海荘」と「池田屋」だった。どちらも、玄関の戸を開け中に入ると、建物の造りにはそれらしい名残があった。しかし、久弥さんが泊まったという話は、記憶に無いようだった。熱海荘さんで聞いたもう一軒の元旅館も尋ねたが、随分前に辞めたので分からないとの返事であった。

池田屋さんの奥さまは、宿帳がなかったか探してみましよう、とおっしゃったので、昭和四十四年四月六日のことだと伝え、宿帳探しをお願いして粟田部を後にした。(Y)

(注) 粟田部は旧今立町の中心地で、現在も地域の中心的存在の様である。池田屋さんの前の通りは、現在の国道で、池田町から冠山峠へと通じる街道であったようだ。

読書会開かれる 今後順次開催予定!

八月二十二日(火) 読書会第一回目を聴山房で開催しました。

参加者は六名と少人数でしたが、笹次代表の挨拶に続き、初回は久弥さんの『日本百名山』の中から福井県の「荒島岳」をテーマに選びました。

最初に全員で文章を一節ずつ読み、輪読をしました。色々な声での久弥さんの文章に触れることができ、味わい深いものがありました。

その後はそれぞれ思い思いに、荒島岳を登ってきた人の話や、関連した花や果実の話、何故荒島岳が選ばれたのだろうかとか、近くの山々の話とか、思いつくまま自由にどんな話しが膨らみ、幅広く話し合うことができました。二回目は穂高岳をテーマに話し合いました。

次回十月二十四日(火)は『日本百名山』の中から「白山」を取り上げたいと思っています。またその後は、十一月二十八日(火)「立山」を予定しています。

皆様、是非ご参加下さい。お待ちしております。

なお、今後取り上げてほしい本の題名とか、

皆で話し合いたいこと、楽しみたいことなど、色々なご意見をお聞かせいただきたく思っています。深田久弥山の文化館事務局までお寄せ下さい。



間こひ会予定

■ 十月十五日(日) 午後●●時より

深田久弥山の文化館 聴山房

演題…「深田先生あれこれ」

講師…宗實 慶子氏

(ティオ・ティバ登頂者)

■ 十一月十九日(日) 午後●●時より

深田久弥山の文化館 聴山房

演題…「山と出逢い 人と繋がる」

講師…清水 ゆかり氏

(北アルプス朝日小屋管理人)

* 詳細はホームページをご覧ください

編集後記

秋の色は「白」。深まりゆく自然の中で素敵な自分の色を重ねていきたいものです。

再びの「秋号」。これからもよろしく願います。